

[TOP page](#)[資料室](#)[イベント情報](#)[講師を探す](#)[Worker's 広場](#)[関連リンク](#)

## 資料室

[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [自己啓発](#) | [賀川豊彦伝 \(9\)](#)[労働組合](#)[労働者福祉・共済](#)[一般教養](#)[社会保障](#)[労使トラブル法律相談Q&A](#)[労働関係法](#)[経営全般](#)[人間関係とコミュニケーション](#)[ライフプラン](#)[男女共同参画](#)[公務員関係法](#)[日朝の歴史](#)[7つの習慣](#)[中東の歴史](#)[ボランティア活動](#)[環境活動](#)[社会貢献活動](#)[自己啓発](#)[生涯学習](#)[外交・防衛問題](#)[資本論](#)[教育カリキュラム](#)[日本国憲法](#)

### 賀川豊彦伝 (9)

賀川は先進的な労働運動を展開していきます。友愛会のなかに労働者の四大権利である「生存」「団結」「ストライキ」「参政権運動」を要求する運動を展開しました。また友愛会の中心目標にILOの「国際労働9原則」を取り入れました。確信を持って活動する賀川に対し厳しい政府の弾圧が加えられていきます。車産複合体の心臓部である造船をはじめとする港湾と製造分野での団体交渉やストライキがきっかけでした。全国的に知られている賀川はいつも団体交渉の最前線にいました。労働者の多くは臆病で封建的な依存に安住しているため、賀川ら知識人の先導に頼っていたのです。これは当時の組合意識がいかに未発達であったかを示すものです。

1921年の長く暑い夏は、5月の大阪藤永田造船所でのストライキから始まりました。主要な争点は、会社が組合を認め、これと団体交渉をせよというものでした。この交渉が紛糾し、警官隊との衝突まで招きます。闘争は神戸港全体に広がっていきます。そして7月10日、賀川と労働運動の指導者たちが計画した、およそ3万5千人が10キロ以上に渡って行進する大規模なデモが行われました。長期間に渡るストライキは次第に労働者を追い込んで行きました。1921年7月26日、ストライキが解体し始めます。警官との乱闘で170人が逮捕されました。警察の圧力によって公の集會が禁止されましたので、賀川らは新しい戦術を考え出します。労働運動の集會ではなく、集団で神社参拝をするのです。賀川はこのような「宗教的」な集會で演説を始めました。7月28日には一万人以上が幾つかの神社に分かれて集會を開きました。警察はストライキ本部の手入れを行い、賀川ら組合の指導者多数を逮捕します。賀川の投獄中、ストライキ参加者は降伏し、仕事に戻っていきます。賀川は次第に組織からうとんぜられるようになり、労働運動というものと疎遠になっていきます。

彼はその後、実質的に都市の労働運動への関わりを減らしましたが、労働運動の未来に希望を捨てたわけではありませんでした。農村に育ち、農村生活の直接的ジレンマを知っている賀川は農村に注目し始めます。労働者は最終的には暴力への呼び掛けを拒否し、立法による社会変革を企てるだろうと彼は考えていました。その長期的戦略は都市労働者と農民の間に共同戦線を発展させるというものでした。

(つづく)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

**Worker's Library 会員登録**  
お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

🗺️ サイトマップ   📄 このサイトについて   🛡️ 個人情報保護の取組みについて

🏠 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

**Worker's Library** 静岡で働く人のための資料閲覧サイト  
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.